

## 検討事項に係る主な論点（案）

## 検討事項

- (1) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能の在り方
- (2) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能の活用の在り方
- (3) 地域におけるスポーツ医・科学支援の実施体制の在り方
- (4) 地域のスポーツ医・科学支援を担う人材育成・確保の在り方
- (5) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能向上のための推進方策

(1) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能の在り方

## 【現状・課題】

- 国立スポーツ科学センター（JISS）がトップアスリートに対して実施する支援機能としては、①体力測定、②メディカルチェック、③栄養サポート、④トレーニングサポート、⑤心理サポート、⑥映像・ITサポート、⑦動作分析、⑧レース・ゲーム分析の8分野。
- スポーツ医・科学支援を行う都道府県は9割に達しているが、JISSで行われている8分野のすべての項目を実施している都道府県はわずかであり、取組を実施する都道府県の支援内容には差が生じている。

## 【主な論点】

- 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学支援を受けられる環境の構築を目指していく上で、特にアスリートの育成の場となる都道府県レベルの取組として、必要となるスポーツ医・科学支援の範囲をどのように考えるか。現在 JISS で実施している8分野とすることについてどのように考えるか。
- 上記の支援を実施する上で、メディカルサポートの在り方をどのように考えるか。
- 地域のスポーツ医・科学支援機能を検討する上で、具体的な支援内容や施設の水準についてどのように考えるか。

(2) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能の活用の在り方

## 【現状・課題】

- 都道府県が実施する支援は、主として国民体育大会（国体）の強化指定選手に対して実施されている。また、一部の都道府県においては、域内のナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点と連携した取組が行われている。
- パラスポーツ選手への支援が十分に行われていない現状がある。
- 依然として指導者によってスポーツ医・科学支援の重要性の認識に差がある。また、女性アスリートの身体的・心理的な課題を踏まえた指導については、特に学校部活動を含めジュニア層への指導において十分行われていないなどの課題がある。

### 【主な論点】

- 現在、都道府県の強化指定選手を主としつつ、実業団所属の選手、学校部活動等の選手を対象とした支援が行われているが、地域におけるスポーツ医・科学支援の対象の在り方をどのように考えるか。
- 学校部活動をはじめとしたジュニア層を対象とすることについてどのように考えるか。
- パラスポーツ選手への支援の在り方についてどのように考えるか。
- 指導者への研修の場としての活用の在り方についてどのように考えるか。特に学校部活動における女子選手の健康課題に対応した指導への活用についてどのように考えるか。
- NTC 競技別強化拠点との連携の在り方についてどのように考えるか。

## (3) 地域におけるスポーツ医・科学支援の実施体制の在り方

### 【現状・課題】

- 地域におけるスポーツ医・科学支援は、都道府県が自らスポーツ医・科学支援機能を有して実施する事例のほか、業務委託や経費支援などにより取り組む事例がある。
- 一部の地域では、都道府県の枠を超え広域的に連携したスポーツ医・科学支援の体制が構築されている。
- 支援の実施体制については、国体開催後に削減される事例も見られる。
- 国・日本スポーツ振興センター（JSC）が実施する地域のスポーツ医・科学センターに対する支援は、トップアスリートに係るものとなっている現状がある。

### 【主な論点】

- 地域におけるスポーツ医・科学支援を実施する体制をどのように考えるか。
- JISS との連携の在り方についてどのように考えるか。
- 都道府県体育スポーツ・障害者スポーツ協会との連携の在り方についてどのように考えるか。
- 都道府県競技団体（PF）との連携の在り方についてどのように考えるか。
- 例えば、関係団体によるコンソーシアムを構築し、情報共有や役割分担を明確化することで効果的な取組が進められるものと考えているが、どうか。
- パラスポーツ支援を含め、各機関の特長を生かした広域的な実施の在り方についてどのように考えるか。

## (4) 地域のスポーツ医・科学支援を担う人材育成・確保の在り方

### 【現状・課題】

- 各地域の潜在的なスポーツ医・科学支援を担う人材の情報の集約が十分ではなく、人材の確保が困難な現状がある。
- 国・JSC が実施する人材育成は、ハイパフォーマンスに限られたものとなっており、人

材育成ノウハウが地域のスポーツ医・科学センターに十分共有できていない現状がある。

**【主な論点】**

- JISS との連携の在り方についてどのように考えるか。(知見の共有、人材データベースの構築など)
- 大学や研究機関との連携の在り方についてどのように考えるか。
- 引退後のアスリートの協力についてどのように考えるか。
- 上記の他、地域のスポーツ医・科学支援を担う人材育成の在り方についてどのように考えるか。

(5) 地域におけるスポーツ医・科学支援機能向上のための推進方策